

## さあ、住まいづくりを始めましょう！

### 一に勉強二に勉強！

住宅関係の雑誌や本を買ってみたり、インターネットを検索したり、家を作るとなれば沢山勉強しますよね？

今、私の文章を読んでくれているのも、その1つですよ？

家づくりには長い時間がかかります。もちろん長い時間をかけて建てた家は、それから何十年も住むこととなります。

「どんな家を建てようかな？」と、あれこれ情報を集め、じっくりと検討するこの時間は、本当にいい家づくりを実現するためにとても大切な時間です。

せっかくだすから、視点を変えて、まったく別の方向から、あなたの家づくりを考えてみるというのはどうでしょう？

思いもつかなかった新しいアイデアや家に対する考え方が生まれることが少なからずあると思うのですが…。

それでは、手っ取り早い方法をひとつ。

私がお勧めするのは「建築家が書いた住宅の本をじっくりと読んでみる」ということです。おそらく、家づくりに「すぐ使えそうなこと」や「すぐに役立つこと」が載っていることはあまりないと思います。

その建築家の本には「どうやって考えて創るのか」「どんなところに神経を使ったか」、といった「家づくりに対する考え方」や、「住宅とは何か」、「家というのは、どのようにあるべきなのか」といった、難しい話が書いてあると思います。

建築家は、家とはなにか？ 住まいとは？ ということについて、徹底的に勉強し、突き詰めて考え続けているはず。共感できる話のひとつやふたつは、きっとあるはず。

何だって良いんですよ。「タイトルがいい！」でも表紙のデザインでも、中に載っている家のデザインでも、写真が多いからという理由でも。何となく気になった本を選べば良いのです。

条件は、「住宅を専門にやっている建築家の本」であること、それだけです。できれば、ご夫婦でそれぞれ一冊ずつ買って、まわし読みすれば良いと思います。もちろん図書館で借りてきてもいいんです。ぜひ一度試してみてください。

家に対する思い、条件、夢や、家を建てるための手段や方法は、十人十色です。ひとりでも多くの方が、納得できる家を建てる。で、子どもも元気に育つ、お父さんもお母さんもみんな笑顔であふれてる、そんな家がある街って、何か素敵だと思いませんか。

## さあ、家を建てるぞ！

「さあ！家を建てるぞ！」「マイホームが欲しい」と思った時にあなたなら何をしますか？  
展示場を見に行きますか？雑誌で勉強？それともインターネットで資料請求？

でも、私がお薦めするのは、まず今のライフスタイルを思い出してみることです。  
現実を見つめることから始めます。

例えば、「うちは、子供がまだ小さいな。お父さんは、毎日帰るのが遅く、休みもほとんど家にいない。  
ただ、寝るだけの生活。私は専属主婦で家事中心の生活。少しでも、家事が楽にならないかしら？」

とか、「うちは仕事柄、毎日のようにお客さんが尋ねてくるのよね。子供はアレルギーなので新建材は  
使用することができない。娘は、お稽古で毎日ピアノの練習をする。主人は、読書が趣味で一人ゆっく  
りと落ち着いた部屋が欲しいと思っている。」

現実を把握できれば、次に、あなたにとって、またあなたの家族にとって、「何がいちばん大切なのか」  
ということを考え、それを“紙に書いてみる”ことから始めて下さい。  
実現したいことが山のようにあっても、とにかく、あなたが望む事をできる限り、“紙に書き出すこと”で  
す。

もちろん、家族が何人か集まると、それぞれの考え方がありますよね。  
それぞれの夢も違うし、ライフスタイルも違います。意見がバラバラでは家づくりにあたって障害が発生  
します。ですから、十分に話し合う事が必要ではないかと思えます。

次は、将来どうなって行くかです。  
当然ですが子供は、成長するし、親は、年をとってゆく。  
いったい10年、20年、30年後は、どうなっているのでしょうか？

子供が成人すると、独立して家を出て行ってしまいます。子供と会うのは、孫ができて赤ちゃんを連れ  
て月に一度だけ・・・ということにもなります。  
それとも、子供が結婚して息子夫婦と同居するかもしれません。そうなると、二世帯に適応できるように  
しておかなければなりません。

逆に親が、65歳も超え年金生活ともなると、体の衰えは隠せません。若い頃と同じように階段を昇り  
降りするのも苦痛になってくるでしょうし、脚が悪くなれば、敷居をまたぐのも大変になってきます。敷居  
につまづいて転倒したともなれば、大変です。バリアフリーの事も考えて、建築する必要があるので  
す。

将来がどういうライフスタイルになってゆくかを想定して家のプランニングを考える必要があります。

次にどんな家を望んでいるのか  
家には、いろいろな家があります。それぞれ個性があり、それぞれの人を求めるものも全て違います。

そこで、あなたは、どんな家をつくらうとしているのか、明確にイメージすることが必要です。  
家族の団欒、快適、安らぎ、安堵感、くつろぎ。いろいろとあります。

もっと簡単に言うと、外壁が全てレンガ貼の家が欲しいと思っているのか、玄関に大きな吹き抜けが欲しいと思っているのか、ランドリー室が欲しいのか。家族でバーベキューを楽しめる家がいいのか、ひょっとすると、屋上にプールのある家がいいのかもかもしれません。

必ず1つはあるはずで、「新しい家で叶えたい夢」が…  
もちろん、その夢は家族1人1人違いますよね。「アレもしたい」「これもしたい」「こんな風にしたい」などなど…色々な夢が無限に広がります。これは当然の話です。

そこで最後に書き出した項目に“優先順位をつけてみます”。  
絶対にこだわりたい！譲れない！という項目は、何なのか。  
それを元に、家族で話し合ってみてください。

「今回は我慢して、いずれ叶えよう」とか「これだけは絶対にしたい」とか「これは全く必要ないな」とかが見えてくるはずで。

家を考えることは、これからの家族の生き方、生活を考えるということにもつながります。  
いろいろと夢を描いてそれをカタチにしてゆくというのは、とてもワクワクする楽しいことですよ。

## 家づくりの秘密兵器

具体的に『マイホームを建てよう！』と決めたあなたは、住宅雑誌をチェックし、切り抜いたり、メーカーさんの資料を取り寄せたり…。  
1歩進んだあなたは、キッチンやバスルームなどのカタログをめくったり、ショールームなどに見に行ったりしているんじゃないでしょうか？

次に設計や住宅メーカーさんなどいくつかの候補を決めて、少しずつ具体的なプランを作り始める。

私達に相談に来ていただいたあなたには「家に対する夢や希望、要望、敷地や予算のことなど」について少しずつお聞きしていきます。  
私達の本領発揮というところですか？

その話の中で1番大切なのは、“いま住んでいる家への不満”です。  
だって今、在住んでいる家へ不満がなければ住み替える必要はないでしょう？

先日、私のお客様で「いまの家の不満点は？」とお聞きしたら「キッチンが使いづらい」という返事が返ってきました。  
他によくあるのが「リビングが狭い！」とか「小学校までに子供部屋が欲しい」というお答えもよくあります。  
私自身は「収納が少ない」と今の家に不満を持っていますが…

それ以外にも山のような不満が出て来ます。人家族1つということはありませんよね？  
ご主人さんにはご主人さんの…娘さんには娘さんの不満があるはずで。

しかし、大きな問題があるのです。

それは、その不満に対して『具体的なコト』がわからないということです。

つまり、漠然と「キッチンが使いづらい」というお答えが返ってきましたが、「狭いから使いづらい」のか、それとも「シンクと冷蔵庫の配置が使いづらい」のか、「シンクが小さい」なのか具体的に何が原因で『使いづらい』のか、という事がわからないのです。

では、どうすれば良いか？

その原因を少しずつ、ハッキリさせましょう！

「キッチンが使いづらい」それはなぜ？ 「狭いから使いづらい」狭いのは具体的にどんな所が？  
「キッチンと食器棚のスペースが狭い」今はどれくらいですか？ 「う…ん。70cm かな？」  
では、どのくらい欲しいですか？  
と、いう具合。

これって、今、不満に思っているあなたにしかわからない事ですよね？

元々、限られた敷地に限られた予算で、より使いやすく、より広く、より良いプランを作るのです。  
このような細かな『何 cm』といった小さな寸法の積み重ねが、住み始めてからの使い勝手や出来映えにずいぶん影響してくるのです。

そんな時に使う秘密兵器！それは“メジャー”です。

あなたは持っていますか？使っていますか？

「狭いから使いづらい」今使っているキッチンの流し台の縁から、うしろの食器棚までの距離が「70 cm」

じゃあ、後30cmは欲しいってね…

台所つながりで、その他には今使っている流し台は、低いのか？ 高すぎるのか？っていうことも測れます。

先日のお客様のご主人は、「脱衣所を今より広くしたい。」という要望でした。では、今何 cm なのか？あと何 cm あればいいのか？お風呂の洗い場のスペースは十分な広さなのか？

『今現在、不満に感じている』について、それを具体的にどれくらいどうしたいのか、実際に計ってメモしておいてください。

でも、何 cm 大きくすれば良いのか私は解らないということもありますよね？

それは私達や工務店や設計士にご相談下さい。

この、秘密兵器「メジャー」はまだまだ活躍するんですよ！

今のダンスや食器棚、ダイニングテーブルなどの新居でも使う家具、このサイズを測っておくと便利です！

打ち合わせの時に整理ダンスは  $\times \times$  cm だからもう少し壁が欲しいとか…。ダイニングテーブルの幅は  $\times \times$  cm だからダイニングスペースを後 20cm ひろげたいな…とか…。

などなどなど…色々あるでしょう？

せっかく秘密兵器を使うのですから、単位を伝授しておきましょうね！

単位は「何 cm」ではなく、「何mm」で言いましょう！この言い方に慣れておくと、プランの打ち合せの時に便利ですよ。

大工さんや設計士さんは「1.5m」、「1 m50 cm」という単位はあまり使いません。

『1500』と言います。(すべて単位は「mm」。)

しかも！ミリという言葉も省略して、『1300』( = 1m30cm) や『750』( = 75cm) と数字だけで言うんですよ！

あなたもメジャーをスッと取り出して、ササッと寸法を計り、「もう 30( = 3cm) ほど広く！」ってちょっとカッコ良いでしょう？

お子様からも「パパかっこいい！」なんて見直してくれること間違いなし！